

「日本で最も美しい村」オンライン大学

「小坂町が推進するワイナリー事業について」



小坂七滝ワイナリー2017. 10オープン

小坂町ぶどう振興対策（平成元年～）

事業の背景

- 鉱山不況（円高）
- 鉱山依存の産業構造から脱却
- 国立公園十和田湖・産業近代化遺産を活用した観光振興・未利用地を活用した農業振興

国立公園「十和田湖」



鉾山の町から観光の町へ



平成14年5月23日(告示)に国重要文化財へ指定

ぶどうの里づくり事業スタート



小坂町ぶどう試験場 (ふるさと創生1億円の活用)



町営ブドウ試験場(4ha)

「山ぶどう」系品種の導入

「山ぶどう」系品種とは

野生の山ぶどうは雄株・雌株に分かれており生産は不安定。しかし、山ぶどうは病気に強く、鮮やかな色と濃厚な風味は魅力である。澤登氏はこれらの特徴を生かし、安定した生産が出来る日本オリジナルワイン専用種を育成するため品種改良を行った。さらに質の高い日本ワインを目指し「アムレンシス系」山ぶどうを中心に改良を進めた。

例



ヨーロッパ種

×



山ぶどう

=



「山ぶどう」交配種

ぶどう原産地

● ヨーロッパ系

(西アジアが原産地)

- カベルネソーヴィニオン
- メルロー
- ピノアール
- シャルドネ
- セミヨン
- リースリング 等々



● アムレンシス系

(アジア原産地)

- 標高の高い場所や東北・北海道多く自生している山ぶどうもアムレンシス系の一種。山ぶどう系品種はこれをベースに交配し、改良したもの



● アメリカ系

(北アメリカが原産地)

- キャンベル
- スチューベン
- コンコード
- ナイアガラ
- ポートランド
- デラウェア 等々



ワインを取り巻く環境の変化

ワイン出荷動向

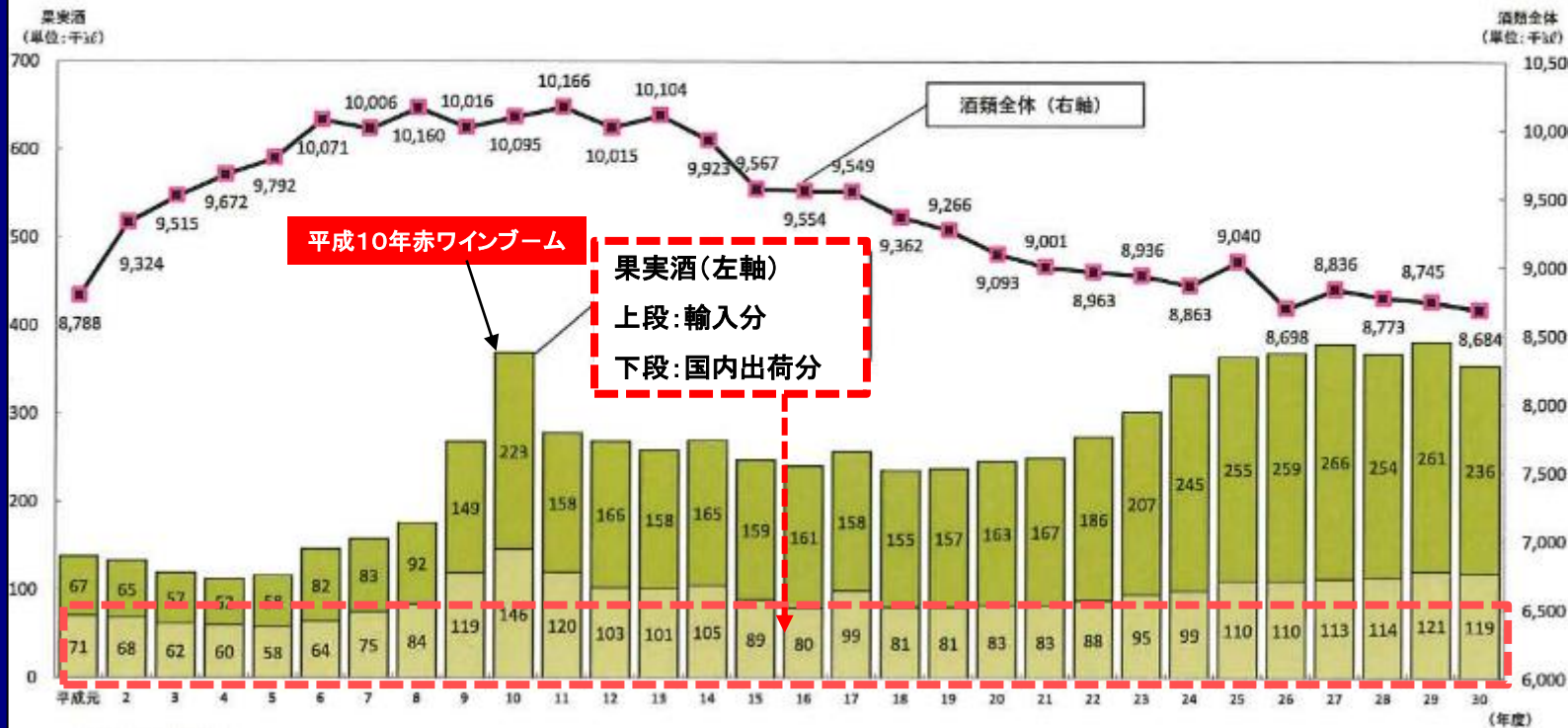
令和3年1月1日現在
(2020国税庁調査)

国内出荷分は122,279kl
(うち日本ワイン13,779kl)
※日本ワインは国産ワインの
約11.2%

○ 果実酒の出荷量（課税移出数量）の推移（2018国税庁調査）

酒類全体の課税移出数量が減少しており、果実酒についても減少。

果実酒の課税移出数量のうち、輸入分は前年比約9.6%の減少、国内出荷分は前年比約1.7%の減少。



食生活の多様化



日本ワインの表示基準を 参考にしたラベル表示(例)

実際のラベルを
見てみよう

国が定める初めての ワインのラベル表示ルール。

日本
ワイン
の例

日本ワインの表示
(任意表示)

地名の表示
(ワインの産地)

虎ノ門で収穫されたぶどうを
原料にして虎ノ門で醸造され
たワインです。

ぶどうの品種名の表示

このワインはマスカット・ペー
リーAという品種のぶどうを
85%以上使用して醸造されて
います。

ぶどうの収穫年の表示

このワインは2018年に収穫さ
れたぶどうを85%以上使用し
て醸造されています。

表



裏



日本ワインの表示

裏ラベルには必ず表示されて
います。

原材料の表示

使用された主要な原材料が使用
量順に表示されています。

一括表示欄

日本ワインであること、品目、原
材料名、製造者、製造場、醸造
地、内容量、アルコール分など
がまとめて表示されています。
(注1) 品目、内容量は表ラベルに表示
されている場合は省略されていること
もあります。
(注2) 製造者、製造場、醸造地が同一
の場合には製造場や醸造地は省略さ
れていることもあります。

表示基準の適用開始の日は平成30年10月30日

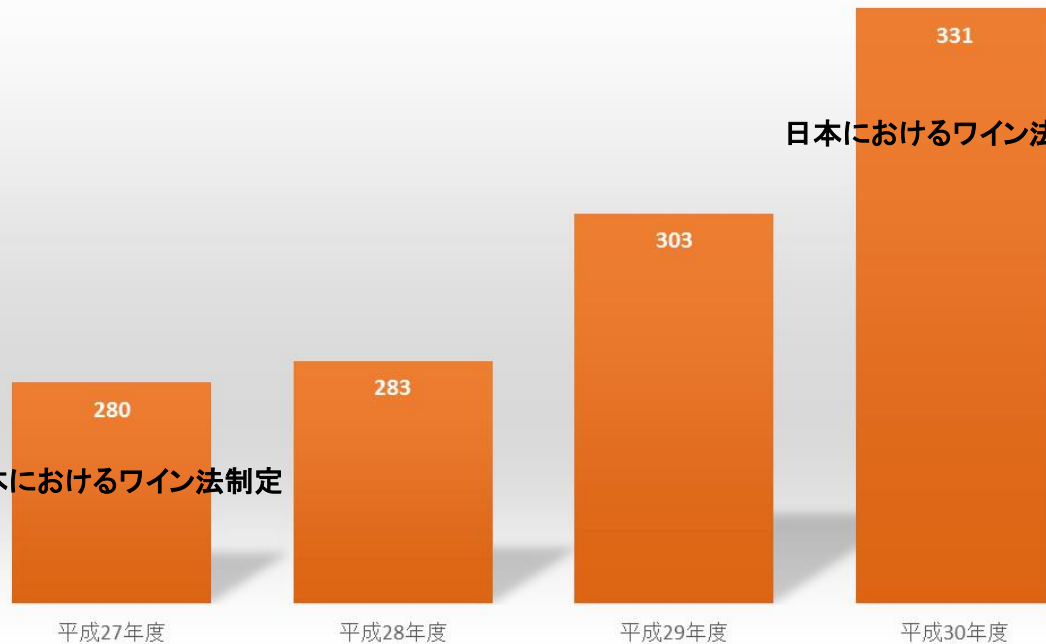
国内ワイナリー数

(国税庁調査)

令和3年1月1日現在
「413場」まで増加！

日本におけるワイン法施行

日本におけるワイン法制定



順位	都道府県	ワイナリー数 (場)	順位	都道府県	ワイナリー数 (場)
1	山 梨	92	24	埼 玉	4
2	長 野	62	24	石 川	4
3	北 海 道	46	24	京 都	4
4	山 形	19	24	熊 本	4
5	岩 手	11	29	群 馬	3
6	青 森	10	29	富 山	3
6	新 潟	10	29	兵 庫	3
6	岡 山	10	29	福 岡	3
9	福 島	9	33	岐 阜	2
10	茨 城	8	33	三 重	2
10	栃 木	8	33	滋 賀	2
10	静 岡	8	33	和 歌 山	2
10	愛 知	8	33	山 口	2
10	大 阪	8	33	愛 媛	2
15	広 島	7	33	高 知	2
16	宮 城	6	40	福 井	1
16	千 葉	6	40	徳 島	1
16	東 京	6	40	香 川	1
16	神 奈 川	6	40	長 崎	1
16	大 分	6	40	鹿 児 島	1
16	宮 崎	6	45	奈 良	-
22	鳥 取	5	45	佐 賀	-
22	島 根	5	45	沖 縄	-
24	秋 田	4	全 国 計		413

日本ワインの状況

(2020国税庁調査)

図 19

国内製造ワインの製成数量構成比及び種類別構成比

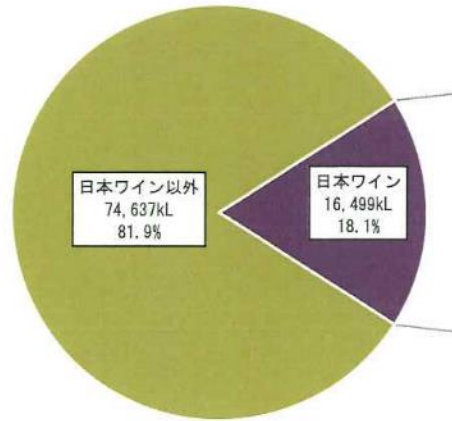


表 57

果実酒の製成数量・出荷数量・消費量の上位 10 都道府県

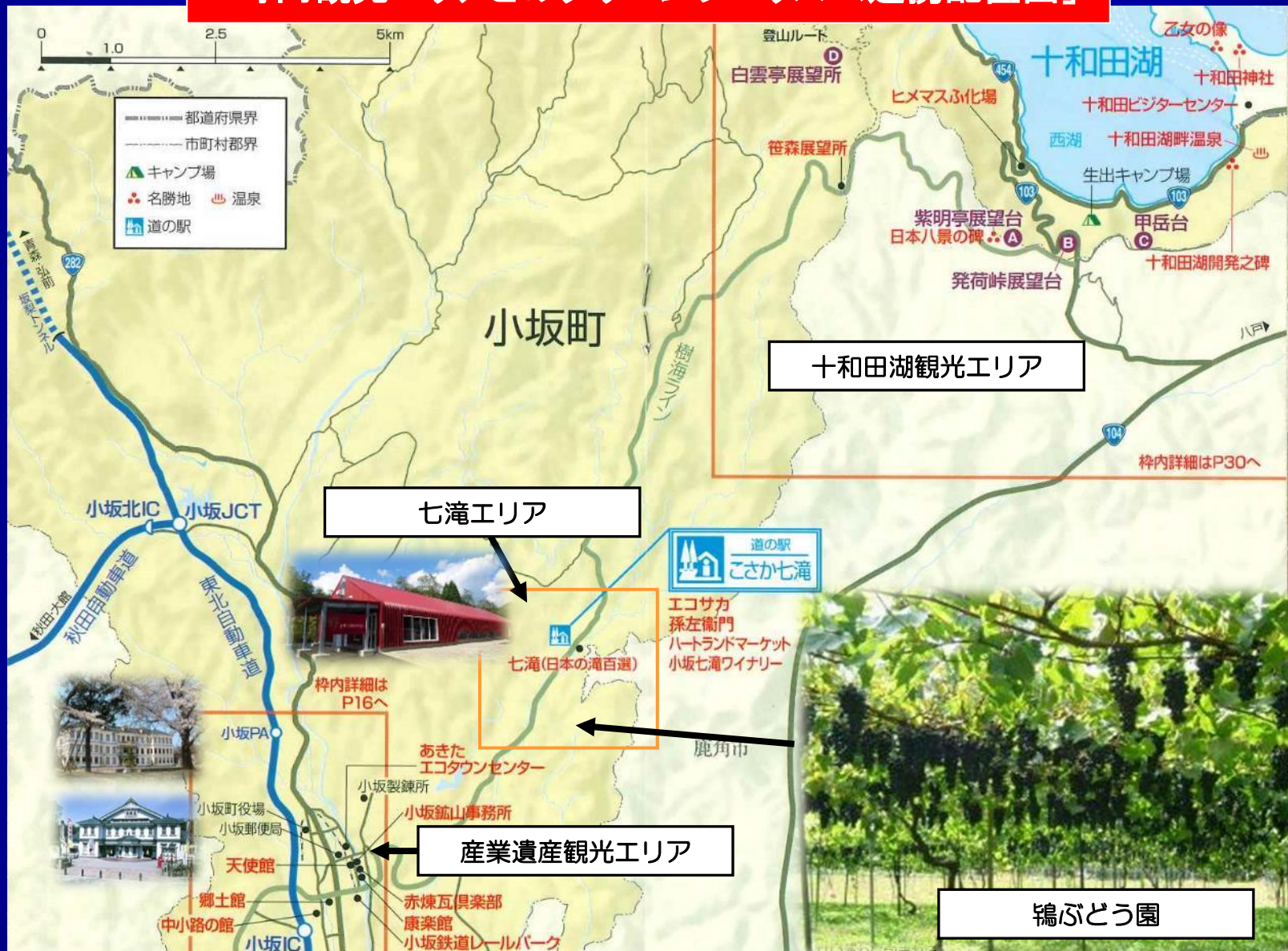
順位	製成数量			出荷量			販売 (消費) 数量	成人 一人当たり
	果実酒			果実酒				
		ワイン	日本ワイン		ワイン	日本ワイン		
1	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	神奈川県	長野県	東京都	東京都
2	神奈川県	神奈川県	長野県	栃木県	栃木県	山梨県	神奈川県	山梨県
3	山梨県	山梨県	北海道	山梨県	山梨県	北海道	大阪府	和歌山県
4	岡山県	長野県	山形県	岡山県	岡山県	山形県	埼玉県	埼玉県
5	長野県	岡山県	岩手県	大阪府	長野県	岩手県	千葉県	神奈川県
6	北海道	北海道	新潟県	長野県	北海道	新潟県	北海道	大阪府
7	青森県	山形県	岡山県	北海道	大阪府	岡山県	愛知県	長野県
8	山形県	岩手県	栃木県	青森県	山形県	京都府	兵庫県	北海道
9	広島県	新潟県	島根県	千葉県	静岡県	宮崎県	福岡県	宮城県
10	岩手県	愛知県	京都府	山形県	愛知県	栃木県	静岡県	沖縄県

(注) 令和2年国税庁統計年報による。ただし、「ワイン」及び「日本ワイン」については、令和3年酒類業実態調査による。

事業の目指す方向

ワイナリーを中心としたグリーンツーリズム推進

「町内観光エリアとのグリーンツーリズム連携配置図」



滞在型観光のイメージ

「食べる」「飲む」「泊まる」

「見る」「体験する」



地域食材とのマリアージュを楽しむ 雰囲気定着させる



地域食材を使ったBBQとの マリアージュイベント



地域の飲食店と連携 地域食材とマリアージュイベント



移住・定住政策にも貢献！

ワイナリー事業に興味のある方が移住や就農などで町に定住し、ぶどうの生産・ワイン醸造・観光事業等に従事。



「第1回日本山ぶどうワインコンクール」

令和5年7月14日～16日



開催目的

- 全国の「山ぶどう」及び「山ぶどう系品種」で造るワイナリーと連携し、山ぶどうワインの認知度向上と醸造技術の向上
- 山ぶどうワインの評価基準確立
- 産地としての魅力向上とワイナリー事業を中心としたグリーンツーリズム推進
- 山ぶどうワインのプロモーション

●出品ワイン103点

●参加ワイナリー41社



1. 北海道(7社)
2. 東北(10社)
青森(1)岩手(3)秋田(3)山形県(2)福島県(1社)
3. 関東(4社)
茨城県(1)東京都(1)神奈川県(2)
4. 中部(12社)
新潟県(1)石川県(1)福井県(1)山梨県(5)長野県(3)
静岡県(1)
5. 中国(3社)
岡山県(1)広島県(2)
6. 四国(2社)
香川県(1)高知県(1)
7. 九州(3社) 大分県(3)



開催日程

7/14 審査会



7/14 山ぶどうワインツアー（岩手葛巻町）



7/15 審査発表・山ぶどうワインディナー



7/15 山ぶどうワインフォーラム



7/16 山ぶどうワインツアー（小坂町）



地元「小坂七滝ワイナリー」大健闘！



- 紫賞(ゴールドメダル×2点)
- 空賞(シルバーメダル×1点)
- 茜賞(ブロンズメダル×3点)

ファイナリー事業の最終目標

1. 仕込量100t！

2. 生産本数10万本！

3. 販売額1億円！

課題

- ワイン用ぶどう栽培面積拡大
420a → 1000a
- ワイナリー生産設備拡張
- 貯蔵施設拡張
- 県外市場にも販路拡大

七滝エリア配置図(グリーンツーリズム拠点)

鶺鴒ぶどう園 (車で5分)



日本の滝百選「七滝」



なたね油搾油施設エコサカ



滝ノ茶屋孫左衛門



道の駅こさか七滝



バイオ燃料製造施設



小坂七滝ワイナリー



桃豚加工施設まんまランド



小坂町体験農園



ご静聴ありがとうございました。

